

長嶺地域コミュニティ協議会たより

1月26日男女共同参画学習会

みんなで参加しよう自治会活動に ～女性も 男性も 若い人も 高齢の人も～

集いを開催=市政さわやかトーク宅配便

小林佳子副会長

昨年に引き続き第二回目の男女共同参画についての集いを1月26日(月)午後7時から、中央区東出張所第一会議室で開催しました。参加者は約40人で、自治会・町内会役員、女性の活動家たちでした。

会は、長嶺コミュニティ協議会副会長で男女共同参画担当の川崎ツキ子さんの司会で進められました。

最初に、新潟市の男女共同参画状況について、新潟市男女共同参画課長の本田加代子さんから、新潟市の審議会委員は1,508人のうち女性は464人(30.8%目標は40%)

、自治協議会委員8区総数243人中、女性49人(20.2%)、自治会長における女性割合2,069人中77人である現状から、女性の参画率の少ないことに触れ、女性も男性もあらゆる世代の誰もが、仕事や子育て、介護、自己啓発、地域活動など様々な活動を、自分の希望するバランス展開できる社会を目指していかなければと話されました。

つづいてグループ毎の「男女共同参画 朗読劇・リーディングシアター台本」の読み合わせを行いました。その中の自治会等の地域活動での役員推薦の場面で、女性の消極性、固定的な役割意識が強く表現されていたことに改めて考えさせられました。

長嶺コミュニティ協議会では、役員全体に占める女性の割合は約50%で、女性の参画は進んでいますが、自治会・町内会長への参画はまだです。今後一層の取り組みに期待したいと思います。

発行 長嶺地域コミュニティ協議会広報部 発行責任者 丹羽 仁 (電話 243-0318)

平成21年2月 男女共同参画講習会特集号

★男女共同参画ってなに？

男女が性別にとらわれず、対等なパートナーとして、自分の個性や才能を発揮しながら社会のいろいろな分野に参画すること、またそれによって利益や喜びを分かち合い、責任も一緒に担うことをいいます。

これは男女平等を実現するためにとっても大切なことです。

※参画とは

グループに加わるだけの「参加」と違い、メンバーの一員として考えたり、決めたりすることに積極的に加わっていくこと。



男性から一言

- ① 家事、子育て、介護など全てに男女共同参画社会であるということを実感できた。
- ② お金によってモノを買う幸福感から、時間的なゆとりによって自由な活動をする、例えば各種のボランティアや趣味活動などをするという豊かさの価値観がのぞまれている。
- ③ 男女共同参画社会は、勿論大切であるが、一番の問題はその人がどう生きるかという事にかかわって来るのではないかと思う。
- ④ まず、町内会やコミ協の活動に参加したりし、外に目を向け豊かな生活を求めていきたいと思つた。

稲荷町 松原 忠